

ひきこもりについて知っていますか？

ひきこもりとは

様々な要因の結果として社会的参加（就学、就労、家庭外での交遊など）を回避し、原則的には6ヵ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態のことをいいます。

内閣府が行った調査によると、「ひきこもり」の状態にある人の年齢は全年齢層に偏りなく分布しており、どの年齢層からも実に多様なきっかけで「ひきこもり」になりうることを示しています。

【内閣府：令和4年度 子ども・若者の意識と生活に関する調査結果】

過去にひきこもり状態になったきっかけ

○満15～39歳でひきこもり状態にある人

退職したこと	14.9%
人間関係がうまくいかなかった	14%
新型コロナの流行	12.3%
病気	10.5%
中学時代に不登校	9.6%
妊娠したこと	7%
その他	9.6%

○満40～64歳でひきこもり状態にある人

退職したこと	42.2%
新型コロナの流行	17%
病気	14.8%
人間関係がうまくいかなかった	6.7%
介護・看護を担うことになった	5.2%
就職活動がうまくいかなかった	1.5%
その他	9.6%

チェック

「結局、怠けでしょ。」「親の甘やかしでは？」「仕事しなくてうらやましい。」そんな声は、誤解であり偏見です。

周囲にいる人は、ひきこもり状態に悩んでいる方に対して「頑張れ」「負けるな」「そのくらいのことで」と説得や叱責するのではなく、その状態に至った背景について理解するように努め、「ひとりで悩まなくてもいい、私も一緒に悩むよ」という気持ちが伝わるように接することが大切です。

また、ひきこもりについての相談を受けたら、話をしっかり受け止め、まずは、相談窓口を案内しましょう。

本人や家族の方は、悩みを抱え込まずに、相談窓口を利用してください。

【相談窓口】

和歌山県ひきこもり地域支援センター

TEL：073-435-5192【こころの電話】

（平日9:30～12:30/13:00～16:30）

・各県立保健所でも相談をお受けしています。

チェックリストについてのお問合せは

県人権施策推進課まで TEL：073-441-2566

FAX：073-433-4540

